

がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】 おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「ひらがなのかきかた」（「しょしゃ」のきょうかしよ10～11ページ）をがくしゅうします。

(1) 9ページの「てのうごかしかた」をかくにんして、8ページのいろいろなせんをえんぴつでなぞってみましょう。

(2) 「ぴたっ」「すうっ」「ぴよん」など、せんのおわりにきをつけながら、10ページの「くつ」と11ページの「かい」をゆびでなぞります。

(3) 10～11ページのしたにある、うすいせんをえんぴつでなぞりましょう。

(4) ノートやとりくみシートに、「くつ」と「かい」をかいてみましょう。

※「ぴたっ」「すうっ」「ぴよん」にきをつけながら、かいてみましょう。

(5) せんのおわりのかきかたにきをつけながら、「うし」「とり」「つくし」をれんしゅうしてみましょう。

※『こくご』のきょうかしよの129～130ページにのっているひらがなひょうをみて、かきじゅんどおりにかいてみましょう。

※とりくみシートや、ノートのます（しかく）から、はみださないようにかきましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「しょしゃ」の「ひらがなのかきかた(P10～11)」では、「止め」「払い」「はね」のような線の終わりの書き方について学習します。

・書く練習を始める際には、体を動かしたり声を出したりしながら、書写の教科書P2～3「しょしゃたいそう」、P4～5「じをかくしせい」、P6～7「えんぴつのもちかた」の活動に取り組むとよいです。（教科書P2～9にQRコードが掲載されています。御活用ください。）

・(2)や(4)では、お子さんがゆっくり丁寧に取り組めるよう、声かけをしてあげてください。

① 止めでは、「ぴたっ」の後に、「1，2」と数えさせる。

② 払いでは、「すっ」ではなく、「すうっ」のリズムで丁寧になぞらせる。

③ はねでは、いったん止めてから、「ぴよん」と小さくはねる。